

会長の活動

IAEG 会長が IGS 連合評議会と中国 Shenyang の地質工学フォーラムに出席

Scott Burns 会長と Faquan Wu 事務局長が 7 月 4 日に中国、Shenyang の北東大学で IGS 連合評議会に出席した。連合の Jean-Louis Briaud 会長が議長を務めた。メンバーは、ISSMGE 事務局長、ISRM 元会長と事務局長、アジア地域副会長の Seokwon Jeon、IGS 会長と副会長であった。

連合会長とメンバーは各学会の報告と課題について議論し、協定書がかわされた。他学会の取り込み、それぞれの学会の情報を共有すること、各学会は会員増とくに賛助会員の増をめざすことと会員サービスの向上に努めることが協議された。次に、2016 年の評議会は IGS の担当でアメリカのマイアミ、2017 年は ISSRM、2018 年はサンフランシスコの IAEG コンgressの最中に開催することが決まった。

Scott Burns 会長と Faquan Wu 事務局長は地質工学フォーラムにも出席し基調講演を行った。フォーラムの最中には会長と事務局長関係者により、会員状況や 50 周年記念誌の配布、副会長と各国グループとのコミュニケーション改善、次の総会準備などについて協議した。

2015 年の会員状況

今年の 1 月から各国の会員状況を調べているが、これまで 19 カ国から返事があった。

会員数 2,723 で、会誌ありが 1,052 となっている。

会誌をちゃんと届けるためにも会員状況を早急に集める必要がある。

7 月 18 日時点の会員情報

地域	国	会員数	会誌あり	会誌なし	賛助会員
オーストララ シア	オーストラリア	293	143	149	1
	ニュージーランド	362	153	209	
北部 ヨーロッパ	オーストリア	23	12	11	
	ジョージア	19	1	18	
	イタリア	108			
	ルーマニア	34	20	13	1
	スペイン	69	69		
南部 ヨーロッパ	オランダ	40	40		
	ベルギー	73	40	33	
	ドイツ	529	56	473	
	ロシア	85	30	55	

アフリカ	南アフリカ	185	45	137	3
北アメリカ	カナダ	116	97	18	
南アメリカ	アルゼンチン	37	37		
	ブラジル	44	30	13	1
	コロンビア	20	17	3	
アジア	中国	550	227	323	
	インド	46	31	15	
	シンガポール	86	4	82	
計		2723	1052	1552	6

ウェブサイトのニュース

ネパールのゴルカ(Gorkha)地震とその応用地質学的特徴の速報

2015年の4月25日に150万人余りが暮らすカトマンズの北西77kmを震源として震源の深さ10から15km、Mw7.8のゴルカ地震が起きた。

日本のOmer Aydan教授とトルコのResat Ulusay教授がウェブサイトに送るとともに被災者を見舞った。

ウェブ編集長からのお知らせ

多くの改良を行ない試用期間が終了した。

- ・WordPressというソフトウェアに変更
- ・不必要なページを削除
- ・Blogの追加。多くの地域の会員の交流に役立てたい。
- ・誰でもアクセスできるパブリック、制限付き、会員限定の3階層にした。委員会報告などは最後の中にある。

各国からの情報

- ・カナダ

Canadian Geotechnical Society、Engineering Geology Division(EGD)

- ・ブルガリア

自然災害後の応用地質、地盤工学をテーマに2016年に国際会議をソフィアで開催予定。

- ・中国

ポール マリノス元会長を上海のTongji大学に招いた。

2015年5月9-13日に、長期的地盤災害を引き起こした巨大地震に関する第4回国際会議が、2008年に起きた四川地震から7年を機に成都で開催された。会議は成都工科大学(CDUT)のSKLGP(防災・自然環境保全研究所)が主催した。

約180人が参加し、13カ国から14の基調講演と22の招待講演を含む67の口頭発表があった。